

目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり
基本目標(政策)	3-3	福祉と子育て環境の充実を図ります
基本計画(施策)	3-3-4	・みんなで支えあう地域福祉の充実

	課	係
主管課・係	健康福祉課	社会福祉係
	健康福祉課	介護保険係
関係課・係	健康福祉課	健康増進係
	総合政策課	企画政策係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①生活困窮者の生活自立に向けた支援を福島県社会福祉協議会と連携し実施することにより、最終目標である就労による生活自立を図ることを目指す。 ②認知症などにより判断能力が著しく不足する高齢者等に対し、成年後見人制度の利用促進を図り、対象者の権利擁護を行い、安心して生活できる環境づくりを目指す。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①生活困窮者については、就労による安定した収入を得ることにより自立した生活を送る。 ②認知症などにより判断能力が著しく不足する高齢者等に対し、成年後見人等の申立て等を支援し、対象者の権利擁護を行う。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 生活困窮者自立支援の相談件数</td> <td>件</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>27</td> <td>※20</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B 成年後見センターの相談件数</td> <td>件</td> <td>13</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	A 生活困窮者自立支援の相談件数	件	14	14	27	※20	11	B 成年後見センターの相談件数	件	13	23	25	20	27	C							D							<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ④ 下回った</td> <td>県で実施していた特例貸付事業が実施されなくなったため、貸付に関する相談が減少した。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>B ② 上回った</td> <td>成年後見制度の理解が進んだ事や、制度利用が必要なケースが年々増加しているため。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ④ 下回った	県で実施していた特例貸付事業が実施されなくなったため、貸付に関する相談が減少した。	/	/	B ② 上回った	成年後見制度の理解が進んだ事や、制度利用が必要なケースが年々増加しているため。	/	/	C		/	/	D		/	/
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																						
	実績値	実績値		実績値	目標値	実績値																																																							
A 生活困窮者自立支援の相談件数	件	14	14	27	※20	11																																																							
B 成年後見センターの相談件数	件	13	23	25	20	27																																																							
C																																																													
D																																																													
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ④ 下回った	県で実施していた特例貸付事業が実施されなくなったため、貸付に関する相談が減少した。	/	/																																																										
B ② 上回った	成年後見制度の理解が進んだ事や、制度利用が必要なケースが年々増加しているため。	/	/																																																										
C		/	/																																																										
D		/	/																																																										
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<p>・生活困窮者自立相談支援事業南会津町支援調整会議による情報共有を定期的に行っている。 ・成年後見センターを委託している町社会福祉協議会において、町内事業所や各種団体の会議等で成年後見制度の周知を行い、制度理解を進める取組を実施している。</p>																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・南会津町成年後見センター運営協議会において、有識者の意見や事例検討などを実施している。 ・生活困窮者自立相談支援事業南会津町支援調整会議において情報共有を定期的に行っている。</p>																																																												

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者生活自立サポート(プラン作成)により、就労に結びつき生活困窮者生活自立サポートの終結を迎えた方がいる。 成年後見制度の相談から、本人申立や町長申立に結び付いた方がいる。 <p>《課題》</p> <p>生活困窮者自立支援に結びつく案件より、生活保護制度の利用者が増加傾向にある。</p>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>生活困窮者や認知症などにより判断能力が著しく不足する方の自立や権利擁護を目的とした施策であり、類似施策はない。</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>生活実態や対象者の今後の方針など時間を有するが、町民の自立や権利擁護を目的としていることから、必要性は非常に高い。</p>

【結論として…(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福島県社会福祉協議会や南会津町社会福祉協議会と密に連携し、生活困窮者の自立に向けた支援を今後も継続して実施していく。 少子高齢化により、認知症を抱えた一人暮らし高齢者等の増加も懸念されることから、成年後見制度の周知と家族とからの相談支援体制の充実を図る。
-------------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額
01	社会福祉団体育成支援事業	健康福祉課	目的	社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図る。		
			概要	社会福祉事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助を各関係機関と連携し実施した。		
			成果	民生委員児童委員協議会の運営や保護司会の活動支援、社会福祉協議会の運営に寄与した。		
		社会福祉係	問題	研修会や啓発運動が新型コロナウイルス感染症の拡大防止から中止されたことで、社会福祉に関する活動への住民参加意欲の低下が懸念される。		
			対策	①継続 社会福祉に関する活動への住民参加を促すため、継続して社会福祉団体の育成を支援する。		
			事業費	52,648	47,749	48,877
02	在宅介護支援事業	健康福祉課	目的	在宅介護に関する福祉サービスを総合的に提供する。		
			概要	在宅の要介護高齢者やその家族に対する相談業務。		
			成果	福祉施設入所や福祉用具の相談に応じ在宅の支援に寄与した。		
		社会福祉係	問題	多様化する相談業務に対応すべく専門知識を有する職員の配置が望まれる。		
			対策	①継続 社会福祉法人南会津会と協議し、令和5年度に向け館岩・伊南・南郷のセンターを統合し業務の効率化を図った。		
			事業費	28,970	32,733	26,294
03	自殺対策緊急強化事業	健康福祉課	目的	町民に対して心の病気の早期発見、早期治療を促すための普及啓発を行い、自殺予防を図る。		
			概要	各地区集会所にうつ病予防のための啓発ポスター等の配付・掲示した。		
			成果	心の病気に対する知識の向上や相談窓口について、町民に対し啓発を図ることができた。		
		健康増進係	問題	心の病気に対して、町民の関心が低い。		
			対策	①継続 今後も継続して、訪問活動や心の病気に関する普及啓発活動を行う。		
			事業費	0	0	0
04	福祉ホール管理運営費	健康福祉課	目的	社会福祉の向上と高齢者の介護予防を図る。		
			概要	南会津町福祉ホール管理運営費。 ※指定管理施設		
			成果	福祉ホールの健全な管理運営に寄与した。		
		社会福祉係	問題	施設の空調設備の不具合により、利用者の利用環境に不便が生じている。		
			対策	①継続 空調施設は8月に改修が完了し利用環境は改善されたため、積極的な活用を図っていく。		
			事業費	3,871	4,235	4,397
05	ひきこもり者社会復帰支援事業	健康福祉課	目的	社会生活を円滑に営むことが困難な若者の社会的自立と就労意欲を促進させる。		
			概要	訪問相談を重ねながら、信頼関係を構築させる。なお、ユースプレイス(居場所)において興味を持ってもらえるような各種プログラムを提供することにより、ひきこもりの解消につなげた。		
			成果	継続的にユースプレイス(居場所)に訪れ、社会復帰に向け前向きになっている利用者がいる。		
		社会福祉係	問題	潜在的な引きこもり者の掘り起こしが必要となっている。また、ユースプレイス(居場所)まで来ることができない登録者もいる。		
			対策	①継続 自宅訪問や相談会の実施など、潜在的なニーズの掘り起こしのため、事業周知に努めるとともに、登録者が気軽にユースプレイス(居場所)へ訪れることができる支援体制を構築する。		
			事業費	3,000	3,000	3,000
06	成年後見制度利用支援事業	健康福祉課	目的	判断能力が十分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の権利侵害の防止を図る。		
			概要	法人後見人として実務経験のある町社協が相談機関となり、成年後見制度の普及啓発や制度の利用促進(支援)につなげた。		
			成果	町内事業所や各種団体の会合での事業周知を図った結果、家族等からの相談件数が増加傾向にある。		
		社会福祉係	問題	相談件数は増加傾向にあるものの、実際の申立てにつながるケースが少ない。		
			対策	①継続 制度利用を必要とする高齢者等の情報収集や制度の周知を継続的に行う。		
			事業費	5,535	5,011	5,005
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			94,024	92,728	87,573	84,299